

水産基盤整備調査委託事業

1 事業の目的

漁港・漁場・漁村における情勢変化に的確に対応するため、「漁港漁場整備長期計画」や「技術開発の方向」に即した水産基盤整備の今後の展開方向を検討するとともに、その具現化のために必要な計画、設計、施工技術等の改善や手法の確立を図ることにより、水産基盤整備事業の効果的・効率的な実施等に資することを目的とする。

2 事業の内容

水産基盤整備調査として、次に掲げる調査項目及びこれに係る調査課題の全部又は一部について実施するものとする。

- (1) 水産基盤整備基礎調査
漁村等の社会経済的調査、今後の水産基盤整備の基本方針の策定、水産基盤整備の効果を地域経済に取り込む等のフォローアップに必要な調査
- (2) 水産基盤整備基準調査
計画・設計基準の策定、技術情報の整理・分析に必要な調査
- (3) 水産基盤整備施工技術調査
積算・施工に必要な標準積算・施工基準等の検討、施工技術の開発に必要な調査
- (4) 水産基盤整備新技術開発調査
大きな効果が期待される水産基盤施設の新技术開発に必要な調査及び実用化のための実証試験
- (5) 水産基盤整備生物環境調査
水産基盤整備が生物環境へ及ぼす影響・効果の把握や生物の生息場を効果的に創出するために必要な生物環境等の調査
- (6) 水産基盤整備事業評価調査
水産関係公共事業等の事業評価及び政策評価の評価手法の開発や見直し、直轄事業等の事業計画の検討
- (7) 水産環境整備実証調査
広範囲の移動を伴う魚種を対象とした海域において、効率的かつ効果的な漁場整備を推進するための計画策定に必要な調査
- (8) 水産基盤整備拠点調査
遠隔離島周辺等において、広域的に回遊する水産資源等を対象とした漁場利用を推進するための基盤整備の可能性を調査
- (9) 水産基盤整備実証調査
全国で特異的な環境にある有明海における漁場環境改善のための技術開発調査